

# 訓練生便り第3号

2020年7月

すべてに十分な主を賛美します。今回の訓練生便りでは、前回に引き続き、今年全時間訓練に召された兄弟姉妹の証しと共に、訓練のスケジュールの中で最も大切な朝ごとの復興の時間について紹介いたします。

## 朝ごとの復興

わたしたち訓練生は、毎朝30分間、朝の復興の時間を持っています。朝の時間は一番甘く、わたしたちは主に善きものを積み込んでいただくことができます。また、朝の時間を主にささげる時、わたしたちは「夜明けの胎から出る露のよう」（詩篇110:3）になり、主を潤します。現在全時間訓練では、まず15分間、個人的に主の名を呼び、詩歌を歌い、祈り読みをします。その後15分間、電話でパートナーの兄弟姉妹と共に御言葉を食べ、朝ごとの食物の内容にあずかっています。

毎週火曜日には朝6時30分より、朝の復興系列というクラスがあります。このクラスでは、朝ごとの享受の秘訣を学んでいます。各個人の朝ごとにおいて益となったやり方や、突破が難しいことをそれぞれの体験をもとに質問形式で交わったりします。また、全員ZOOMの画面の前に立って、朝ごとを段落ごと読み祈りしたり、霊を活用する訓練を行なっています。以前は朝ごとを読み終えるのが目的でしたが、今では他の兄弟姉妹と共に、毎朝いかに主に触れるかを追い求めています。

### FTTK Morning Schedule

5:30	起床・身支度
6:00	個人の朝ごと
6:15	団体の朝ごと
6:30	復興系列

## 1年生の証し



16期生 松岡碧姉妹

私は、両親ともにクリスチャンの家庭で育ちましたが、主観的な経験や、召会生活での享受の経験に欠けていました。正直、集会は嫌いででした。召会は、私にとっては仲の良い友達と会える場であって、真理を積極的に学びたいとは思っていませんでした。

また、日常生活で主を個人的に享受することはありましたが、大学を卒業して在職生活が始まると、忙しさでますます足は遠のきました。そんな時、仲の良い姉妹達が数人、訓練へ参加をすると聞きました。姉妹達は、訓練に参加するにあたって互いに励まし合い、訓練が始まってから、召会生活をとてもエンジョイしていました。それを見て、私も訓練に参加する願いを持ちました。

ただ、訓練に参加することが本当に神のためになるのか、またそれが自分の分であるのか疑問に思っていました。なぜなら就職活動をした際に、神に就職をささげ、今の仕事が与えられた感覚があったからです。その与えられた仕事を辞めることに対して抵抗がありました。しかし、主に感謝します。小組でこの問題について開いたときに、主はある兄弟を通して、この問題を解消してくださいました。その兄弟が語ってくれたのは、イサクの例でした。創世記22章で、アブラハムは神から与えられた子、イサクをささげるよう告げられます。そして、それを実行しようとしたアブラハムは、神によって祝福を得ました。このことが示しているのは、神が私たちに与えたものはすべて、最終的に神にささげ返す必要があるということです。仕事を辞めるにあたって、周りの人にはもったいないと言われました。しかし、私もアブラハムのように神に与えられたものを保持せず、神に寄り頼む生活をしたいと思い、訓練への参加を決めました。不安はありましたが、訓練のために祈り始めると、不思議と環境が整えられ、自分の心配よりもスムーズに仕事を辞めることができました。

これからの2年間、一つからだの中で、兄弟姉妹と交わり、訓練されることができるようになります。



16期生 勝又理充兄弟

私は小さいころからチャーチキッズとして子供小組やバイタル、家庭集会に参加してきました。小さいながら兄弟たちが楽しそうに食事をし、交わりを持ち、詩歌を歌っているのを見て、この繋がりが自分のいるべき場所だと思っていました。

しかし、大きくなるにつれて学校の友達で日曜日集会に行っているのは僕ぐらいということに気づきました。そのため、どんなにバイタルや家庭小組でエンジョイしても学校の友達には召会の話はできませんでした。親が奉仕者として召会に行っていたので中学高校の頃までは召会生活を送っていましたが部活や学業が忙しくなり、友達との付き合いもあり、次第に召会生活から離れるようになりました。

そして社会人四年目の頃になった時、召会生活に戻るきっかけが与えられました。それはN兄弟に誘われて参加するようになった在職者小組です。在職者小組では比較的年が近い兄弟姉妹も参加しており、仕事での近況を話したり、持ち寄りで愛宴をしたり、一緒に詩歌を歌ったりして召会生活をアットホームな雰囲気の中で過ごすことが出来ました。私はここで召会生活での喜びを取り戻したと思います。

その後、兄弟たちの勧めで上海へ在職者ブレンディングに参加したり、アナハイム冬の訓練に行ったりする中で、「私は正常なクリスチャン生活を送れているのだろうか。熱心に聖書や書物を読んでいるわけではないし、主日や祈りの集会に毎回参加しているわけでもない。また預言を満足に語るができるわけでもなく、福音もしたことがない。こんな状況の中、主が来られたらどう申し開きしたらよいのだろう」と思う様になりました。もちろん、できる限り主日に参加して預言を言ったり祈りの集会に出てみましたが長続きしませんでした。そんなとき、兄から全時間訓練に参加してみてもとの誘いが来たので、訓練に行くことに決めました。

訓練では中途半端なクリスチャンから脱してクリスチャンであることを誇れるようになり、主から受けたタラントを増やすことのできる者となれますように。

## WE ARE WELCOMING YOU TO 短期訓練！

オンラインの期間、訓練は訓練されたいと願う35歳以下の兄弟姉妹すべてに開かれることになりました。必要なのは、主を愛する気持ちと訓練されたいという願いだけです。費用はかかりません。

オンライン短期訓練に参加を希望する人は、東京全時間訓練ホームページに掲載されている別紙の用紙に詳細に記入し、署名のうえ、長老・責任者の推薦を受けてください。申込書は、自分で選択した訓練日の前までに、郵便か FAX か Email でお送りください。また、オンライン訓練ではZOOMを使用しております。使用できる環境かどうかをご確認ください。今学期は7月31日までです。

自宅で、その場で  
参加できる！

空き時間に！



参加費無料！

主で満たされて  
大学、職場へ！